

株式会社ブリヂストン
グローバル広報部門
東京都中央区京橋3丁目1番1号
〒104-8340
電話：03-6836-3333
FAX：03-6836-3184
<https://www.bridgestone.co.jp>

2025年1月30日

使用済タイヤの精密熱分解パイロット実証プラントを建設 タイヤ水平リサイクルの社会実装に向けた取り組みを加速

株式会社ブリヂストンは、タイヤ水平リサイクルの社会実装に向けて、関工場（岐阜県関市）敷地内に使用済タイヤの精密熱分解^{※1}パイロット実証プラントの建設を決定しました。2027年中の稼働開始を予定しています。使用済タイヤを精密熱分解して分解油や再生カーボンブラックを回収し、タイヤ原材料として再利用するケミカルリサイクル技術の社会実装に向けて、今回建設するパイロット実証プラントでは、精密熱分解プロセスの確立および最適化に関する技術実証を行います。また、今回の投資は、中期事業計画（2024-2026）において、今後のサステナブルな成長へ向けた「新たな種まき」と位置付ける探索事業の一環です。

ブリヂストンは、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、2022年から使用済タイヤのケミカルリサイクルの取り組みを進めています。2023年には Bridgestone Innovation Park（BIP、東京都小平市）に実証機を導入し^{※2}、使用済タイヤの精密熱分解試験による分解油や再生カーボンブラックを回収する技術開発を進めてきました。回収した分解油をリサイクルオイル化し、合成ゴムの素原料であるブタジエンなどの化学品を製造することで、再生カーボンブラックとともにタイヤ原材料として再利用される資源の循環を目指しています。



使用済タイヤの精密熱分解パイロット実証プラントの外観（イメージ）

本パイロット実証プラントは、BIP に導入した実証機で得た精密熱分解の基盤技術を実装しており、安定した連続運転に必要なプロセス設計や品質管理などの知見を獲得して、分解油や再生カーボンブラックなどの量産を想定したスケールアップ技術の確立を目指します。また、技術開発の取り組みと併せて、プラント操業のノウハウ構築やケミカルリサイクル実現を支える人財の育成も推進します。

なお、今回のパイロット実証プラント建設は、2022 年 2 月に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業／CO₂ 等を用いたプラスチック原料製造技術開発」に採択された実証事業「使用済タイヤからの化学品製造技術の開発」の研究開発テーマの一つであり、E N E O S 株式会社（以下「E N E O S」）と進めている共同プロジェクト^{※3}の一環です。また、精密熱分解により得られる再生カーボンブラックは、2024 年 12 月に NEDO に採択された東海カーボン株式会社による実証事業「使用済みタイヤを含む高分子製品からのカーボン再利用技術の開発」において、新品並みのゴム補強性を持つカーボンブラックの生成を目指した技術開発にも活用されます^{※4}。

ブリヂストンは、様々なパートナーとの共創活動を通じて、使用済タイヤを「資源」としてゴムや原材料に「戻す」リサイクル事業の事業化に向けた「EVERTIRE INITIATIVE」^{※5}に取り組んでおり、タイヤ水平リサイクルの早期社会実装を目指しています。ブリヂストンは、この共創活動を通じて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」で掲げる「Ecology：持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐこと」、「Energy：カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えること」にコミットしていきます^{※6}。

ブリヂストンは、ビジョンである「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」の実現に向けて、商品を「創って売る」「使う」、原材料に「戻す」という当社のバリューチェーン全体で、カーボンニュートラル化、サーキュラーエコノミーの実現、ネイチャーポジティブへの取り組みをビジネスと連動させながら強化し、持続的な価値創造基盤の構築へ挑戦していきます。

【パイロット実証プラント概要】

1. 所在地 : ブリヂストン関工場
岐阜県関市新迫間 20 関工業団地内
2. 着工年月 : 2025 年 11 月（予定）
3. 稼働開始年月 : 2027 年 9 月（予定）
4. 最大処理能力 : 使用済タイヤ 7,500 トン/年

※1 熱分解とは、化合物を無酸素で加熱し、化合物の構成物質を発生させる方法です。タイヤの精密熱分解では、温度や時間などの詳細な条件を制御し、使用済タイヤから高品質なオイル（分解油）やカーボンブラックを高収率に生成することで、資源循環性の向上や CO₂ 排出量の削減につながります。

※2 [2023 年 6 月 8 日 使用済タイヤのリサイクル熱分解試験を開始](#)

※3 [2022 年 2 月 18 日 ブリヂストンと E N E O S、使用済タイヤからタイヤ素原料を製造するケミカルリサイクル技術の社会実装に向けた共同プロジェクトを開始](#)

※4 [2025年1月27日 使用済タイヤ等からカーボンブラックを生成する共同プロジェクトを開始～ 新品カーボンブラック並みのゴム補強性の実現を目指す ～](#)

※5 詳しくは、[EVERTIRE INITIATIVE](#) をご覧ください。

※6 Bridgestone E8 Commitment（ブリヂストンイーエイトコミットメント）」

ブリヂストンは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「[Bridgestone E8 Commitment](#)」を制定しました。これを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる 8 つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先	
< 報道関係 >	グローバル広報企画部 TEL：03-6836-3333
< お客様 >	お客様相談室 TEL：0120-39-2936